

税金は何に使われているの？

国の税金の使いみち

国の税金は、国民が健康でより文化的な暮らしを送れるよう、公共施設を整備したり、平等に教育を受けられるようにしたり、人々の健康や生活を守ったりすることに使われています。

また、自然災害によって被害を受けた人々の救助・支援など国民の命や暮らしを守るためや、科学技術の発展のためにも使われています。



地方の税金の使いみち

地方では、住民が安全で快適な暮らしを送るために、警察、消防、ごみの処理など、みんなの生活に欠かせない身近なところに税金が使われています。

※地方が活動するためのお金には、住民税のように、そこに住んでいる人が地方に納めた税金と、国から地方に渡されるお金(地方交付税など)などがあります。



『社会生活と税』のフォトコンテスト 2022 応募例

例1 タイトル 「お父さんと確定申告」

作品のコメント(例)

私のお父さんは、理容店を経営しています。確定申告期は、忙しく、1年間の売上や経費をまとめています。お父さんの納付する税金が、多くの人々のために使われていることに感激しました。(87字)



例2 タイトル 「ぼくらの生活を守る警察」

作品のコメント(例)

小学校の近くには、交番があります。毎朝、お巡りさんが私たちの登校を見守ってくれています。この機会に、警察には税金が使われていることを知りました。これからも地域の安全を守ってください。

(91字)

